

国土技術開発賞



情報・企画部
技術参事役

田邊 輝行

1 はじめに

「国土技術開発賞」は、建設分野における研究開発意欲の高揚と建設技術水準の向上を図ることを目的として、建設分野における優れた新技術を国土交通大臣が表彰するものである。

最優秀賞(国土交通大臣賞)、優秀賞(同)に選ばれた技術は「ものづくり日本大賞」の内閣総理大臣賞の候補として国土交通省が設置する選考有識者会議へ推薦される。

また、中小建設業者、専門工事業者等の創意工夫やアイデアにあふれる技術を特別賞の創意開発技術賞(国土交通大臣賞)として表彰している。

2 第25回国土技術開発賞の概要

2.1 応募技術の対象

住宅・社会資本整備もしくは国土管理に係わる、調査・測量・計測手法、計画・設計手法、施工技術、施工システム、維持管理手法(点検・診断技術、モニタリング技術を含む)、材料・製品、機械・設備、電気・通信、伝統技術の応用などの広範に亘る技術で、概ね近年5年以内に技術開発され、かつ既に実用に供された新技術が応募技術の対象である。

2.2 応募資格等

(1) 応募者

応募者は、応募技術の開発を直接かつ中心となって実施し、かつ開発された技術に対して責任をとれる者(個人*1、民間法人、行政機関等)としている。応募者が複数となる場合は、原則2者までとしている。

(2) 技術開発者

技術開発者は、応募技術の開発に直接かつ中心となって携わった者の内、「特に技術的に重要な役割」を担った担当者とし、技術開発者が複数になる場合は、1団体2名まで、かつ1応募

技術あたり原則3名までとしている。応募者は、応募者に所属する技術開発者を1名以上申請するものとしている。

(3) 共同開発者

共同開発者は、応募技術の開発に関し、応募者とはならないまでも、技術的に重要な役割を持って参画を行った者(個人*1、民間法人、行政機関等)としている。

*1「個人」とは大学等*2の学識経験者等を指す

*2「大学等」とは、大学、大学院、工業高等専門学校を指す

2.3 募集期間

令和4年10月11日(水)～令和5年1月11日(木)

2.4 応募技術の状況

第25回国土技術開発賞は31件の応募があった。

適用分野別では、例年どおり道路分野が最も多く、それに河川分野、港湾分野、建築分野が続いている。

技術区分別では、今回も施工技術の応募が最も多かったが、維持管理、材料・製品、ソフトウェア、調査・測量・計測、及び地震対策など、多様な区分からの応募があった。

2.5 選考方法

第25回国土技術開発賞選考委員会により、厳正かつ公正に選考された。選考委員会のメンバーは以下の通りである。

委員長 池淵 周一 京都大学 名誉教授

委員 三木 千壽 東京都市大学 学長

// 和田 章 東京工業大学 名誉教授

// 吉岡 幹夫 国土交通省 技監

// 加藤 雅啓 国土交通省大臣官房技術総括審議官

// 佐藤 寿延 国土交通省大臣官房技術審議官

// 奥村 康博 国土交通省国土技術政策総合研究所長

// 高村 裕平 国土交通省国土地理院長

// 藤田 光一 国立研究開発法人土木研究所理事長

// 澤地 孝男 国立研究開発法人建築研究所理事長

// 河合 弘泰 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所所長

- // 徳山日出男 (一財) 国土技術研究センター理事長
- // 宮崎 祥一 (一財) 沿岸技術研究センター理事長

2.6 選考結果

第25回国土技術開発賞では、表1に示す6件の技術が選考された。第25回の受賞技術概要等は <https://www.jice.or.jp/> に掲載している。

表1 第25回国土技術開発賞 受賞技術一覧

	応募技術名称	応募者
最優秀賞 【1件】	汚染地盤の加温式原位置高速バイオ浄化技術	(株)竹中工務店 (株)竹中土木
優秀賞 【2件】	既製杭を用いた地中熱利用技術	ジャパンパイル(株) 新日本空調(株)
	地下水対応型継手を用いた外殻先行型トンネル構築工法	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 戸田建設(株)
入賞 【1件】	簡便な杭式栈橋の補強工法	JFE エンジニアリング(株)
創意開発技術賞 【2件】	高機能床版排水パイプ	中大実業(株)
	油圧ハンマの騒音防止装置	丸泰土木(株)

(応募の受付順による)

また、受賞技術6件の詳細は、(一財)経済調査会発行の「建設マネジメント技術」へも掲載していただくとともに、同誌電子情報についても、アーカイブで JICE HP へ掲載している。

第25回の受賞技術は、同誌発行の令和5年12月号から、連載による掲載を始めている。

2.7 第25回国土技術開発省 表彰式

第25回国土技術開発賞の表彰式は、令和5年8月2日に東京国際フォーラムにおいて、齊藤鉄夫国土交通大臣のご臨席を賜り、厳粛かつ和やかな雰囲気の中で執り行われた。(写真1)



写真1 来賓挨拶 (齊藤鉄夫 国土交通大臣)

最優秀賞、優秀賞及び創意開発技術賞については齊藤鉄夫国土交通大臣より(写真2)、入賞については池淵周一選考委員会委員長より、表彰状と副賞がそれぞれ授与された。



写真2 最優秀賞表彰 (齊藤鉄夫国土交通大臣)

2.8 第25回国土技術開発賞 受賞技術紹介

<第25回最優秀賞>

(技術名) 汚染地盤の加温式原位置高速バイオ浄化技術
(副題) CO₂ 排出量の少ない非掘削浄化技術「温促バイオ®」
(受賞者) (株)竹中工務店 / (株)竹中土木
(技術概要) 本技術は汚染地盤の対策技術である。地盤中の微生物の力を活用して揮発性有機化合物 (VOC) を分解する「加温式原位置高速バイオ浄化技術」、及び浄化剤の拡散状況の可視化と温度・浄化濃度を適正に制御する「注入制御システム」を開発したものである。コストや工期、CO₂ 排出量等に優れた新技術である。

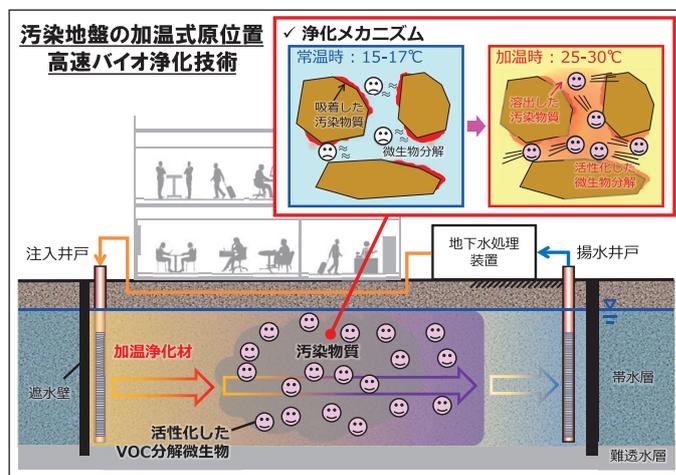


図1 汚染地盤の加温式原位置高速バイオ浄化技術 概要図

3 おわりに

住宅・社会資本に係わる各分野の新技術は新たな国土の創造を下支えするものであり、今後とも新たな技術開発の積極的な推進は不可欠である。今回受賞した新技術は、国土に働きかけて国土から恵みを受け取るために、そして次世代へ力強く美しい国土を残すために、幅広く社会に活用されるものと確信している。JICEとしては、優れた新技術の活用促進等に向け、引き続き努力を行ってまいりたい。